

暴れ獅子

作詞・作曲・編曲 中山孝志 唄 中山孝志 三味線 安藤有希子

法被姿に女惚れる 今日が男の 晴れの日

烏帽子かぶれや 大天狗に 舞子かわいや 花笠

生まれ在所の 百足獅子（注・一） わらじ 笛 太鼓 まめしぼり

踊れや 囃せや 踊れや 囃せや 暴れ獅子

太刀を振り上げ 突く天狗を ひらりひらりと かわして

金の瞳で 睨みつけりや いよいよ出たぞ 長刀

氣迫 氣炎の 鬨ぎ合い 喰らい付くごとに 顎が鳴る

やられて たまるか 噛みつけ 飛びつけ 暴れ獅子

イヤサ イヤサと 獅子が舞えば 出たぞ出たぞと 目録

東西東西 しゃがれ声にや 酒だ酒だと 若い衆

天下一品の 頭の舞いを 俺が支えるぜ 二番蚊帳（注・二）

もう一つ いこうか もう二つ いこうや 暴れ獅子

獅子方野次る 年寄りが 今に 伝えたる 心意気

イヤサ イヤサ イヤサ イヤサ 暴れ獅子

注一 富山県で多くみられる獅子舞の形態。獅子頭と、およそ三〜五人の蚊帳人足が百足のようにつながって踊るためそう呼ばれる。

注二 先頭で獅子頭を持つ者が蚊帳の激しい動きによって後ろへ引つ張りつけられないよう補佐する、前から二番目の者。頭の舞を支える、重要な役割を持つ。